

Section

2

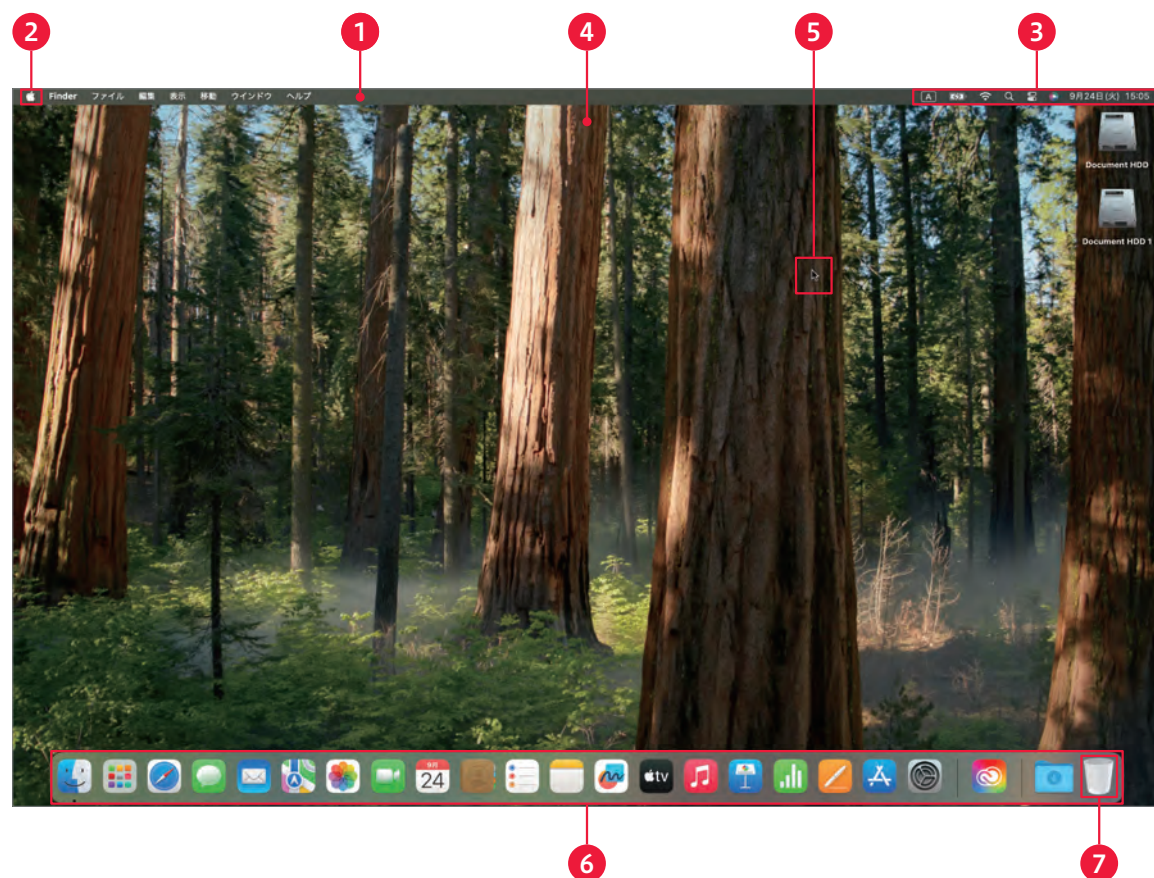
Macの画面構成

- デスクトップ
- メニューバー
- ステータスメニュー

Macでのすべての操作の基点となるのが、「デスクトップ」と呼ばれる画面です。デスクトップは、メニューバーやステータスメニュー、Dockなどで構成され、マウスポインタで指し示した対象を操作します。

デスクトップ画面の各部名称を確認する

Macを使い始める前に、基本となるデスクトップと、デスクトップを構成する要素の名称と用途を覚えましょう。デスクトップからは、Macのあらゆる機能呼び出すことができるほか、Macの状態を確認することもできます。デスクトップは、Macへのログイン直後に表示されます。



● デスクトップの各部名称

① メニューバー

さまざまな機能を実行するための、メニュー項目が並ぶ領域です。各見出しをクリックするとメニューが展開され、見出しに関連する機能を実行するための項目が一覧表示されます。なお、メニューバーの見出しや内容は、使用しているアプリケーションによって変化します。



② Appleメニューアイコン

メニューバーの左端に常に表示されるアイコンです。クリックすると、「Appleメニュー」が表示されます。Appleメニューには、Macの電源を切ったり、再起動したりするための項目が用意されています。



③ ステータスメニュー

無線LANの電波状況や現在時刻などを表示する領域です。ここを見ることで、Macの現在の状態を確認できます。各アイコンをクリックして、Wi-Fi設定などを確認したり、Siriを起動したりできます。ノートブック型Macの場合は、バッテリーの残量も表示されます。



④ デスクトップ

画面の大部分を占める領域です。この領域にウインドウなどを表示してファイル/フォルダを操作するほか、ファイルのアイコンなどを置くこともできます。背景の画像(壁紙)は、好みのものに変更できます(84ページ参照)。

⑤ マウスポインタ

マウスやトラックパッドを使って動かすことのできる、矢印形のアイコンです。マウスポインタを操作対象に重なるように移動することで、メニューやアイコンを操作します。マウスやトラックパッドの操作方法について、34ページを参照してください。



⑥ Dock (ドック)

アプリケーションやファイル/フォルダのアイコンが並ぶ領域です。アプリケーションのアイコンをクリックすると、そのアプリケーションが起動します。Dockには、アプリケーションやフォルダを自由に登録できるので、よく使うものを登録しておくとう便利です。Dockの右端には境界線があり、左側にはアプリケーションが、右側には一時的にDockに格納されているウインドウや、Dockに登録したファイルが表示されます。



⑦ ゴミ箱

ゴミ箱は、削除したファイルやフォルダが保管される特別なフォルダです。クリックすると「ゴミ箱」ウインドウが表示され、削除したファイルやフォルダを確認できます。



メニューバーの使い方を確認する

メニューバーには、使用中のアプリケーションを操作するためのさまざまな項目(コマンド)が用意されています。[Finder]や[ファイル]などのメニューをクリックすると①、そのメニューに関連する項目が一覧表示されます。項目をクリックすると②、該当する命令が実行されます。



● メニューバーの見方

ここでは「Finder」(52ページ参照)を例に、各メニューにどのようなコマンドが用意されているかを紹介します。メニューの内容は、使用するアプリケーションによって異なります。



① Appleメニュー

Macの再起動やシステム終了(電源オフ)、Macに関する情報を表示するメニューです。

② アプリケーションメニュー

使用中のアプリケーション名(ここでは「Finder」)のメニューです。アプリケーションの設定を変更する、ウィンドウを一時的に隠すなどの操作ができます。

③ ファイル

使用中のアプリケーションでファイルを新規作成したり、開いたりするメニューです。

④ 編集

項目の選択やコピー/ペーストなどの操作をするメニューです。操作の取消ややり直しも、このメニューから行います。

⑤ 表示

ウィンドウやアイコンの表示方法をカスタマイズできるメニューです。

⑥ 移動

選択したフォルダに移動したり、サーバにアクセスしたりするメニューです。

⑦ ウィンドウ

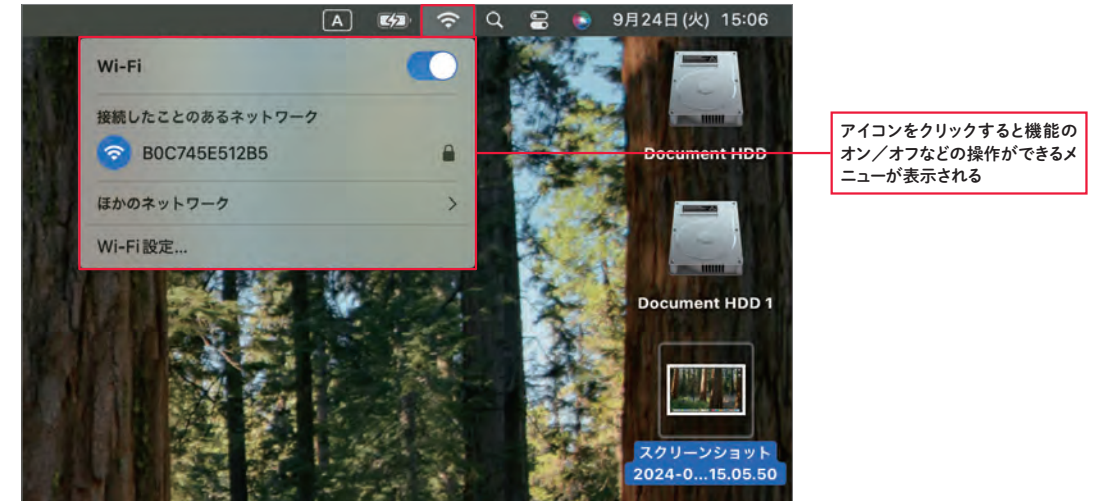
ウィンドウのサイズを拡大/縮小したり、表示するウィンドウを切り替えたりするメニューです。

⑧ ヘルプ

使用中のアプリケーションに関するヘルプを参照できるメニューです。

ステータスメニューの使い方を確認する

ステータスメニューでは、アイコンの表示でMacの状態を確認したり、Macの各種設定を変更するための画面(システム設定)を呼び出したりできます。表示される項目は使用しているMacの機種によって異なり、カスタマイズも可能です。



● ステータスメニューの見方



① 入力

「日本語」「ABC」など、入力ソースの切り替えをはじめとした、文字入力に関する機能が集められています。



② バッテリー(ノートブック型Macのみ)

残りのバッテリー容量や、残りの動作可能時間(予測)を確認できます。



③ Wi-Fi

Wi-Fiのオン/オフの切り替えや、接続するネットワークの選択/変更などができます。



④ Spotlight

デスクトップ検索機能「Spotlight」を呼び出します。



⑤ コントロールセンター

「システム設定」アプリを使わず、Wi-FiやAir Dropなどを直接操作できます。



⑥ Siri

Siriを起動します。



⑦ 日付と時刻

現在の時刻と日付、曜日を確認できます。クリックすることで通知センター(78ページ参照)を呼び出します。

9月24日(火) 15:05

Section

3

Macにログインする/
終了する

- ☑ ログイン
- ☑ ログアウト
- ☑ スリープ

Macを使用するには、本体の電源を入れて起動します。表示されたログインウィンドウでパスワードを入力してログインすると、デスクトップが表示されます。Macの使用を終えるには、電源を切るかスリープさせます。

ログインする/ログアウトする

Macの電源を入れると、ログインウィンドウが表示されます。ここでユーザアカウントのパスワード(25ページ参照)を入力して **[return]** を押すと、ログインしてMacを使い始めることができます。

● Macにログインする

Macの電源を入れると、画面にログインウィンドウが表示されます。ユーザアカウントのパスワードを入力して **1**、**[return]** を押すと、Macにログインしてデスクトップが表示されます。ユーザアカウントが複数設定されている場合は、ログインするユーザのアイコンをクリックすると、パスワード入力欄が表示されます。



● Macからログアウトする

1台のMacを家族や同僚と共用していて、複数のユーザを登録している場合は、一度ログアウトすることで、Macの電源を切らずにほかのユーザに切り替えができます。ログアウトするには、メニューバーで[Appleメニュー]→[アカウント名)をログアウト]をクリックします **1**。

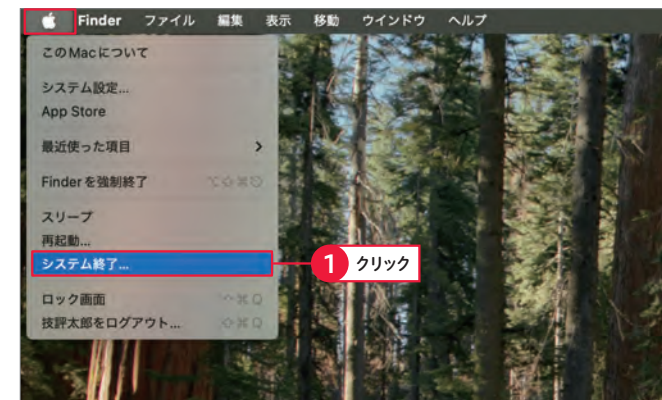


電源を切る/スリープさせる

Macの電源を切るには、メニューバーから[Appleメニュー]→[システム終了]をクリックします。電源を切る際は、使用中のアプリケーションをあらかじめすべて終了しておきます。

● Appleメニューから電源を切る

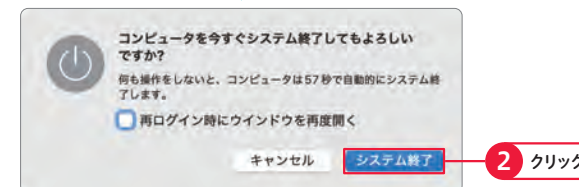
電源を切る場合は、メニューバーで[Appleメニュー]→[システム終了]をクリックします **1**。確認のダイアログボックスが表示されるので、[システム終了]をクリックします **2**。



MEMO

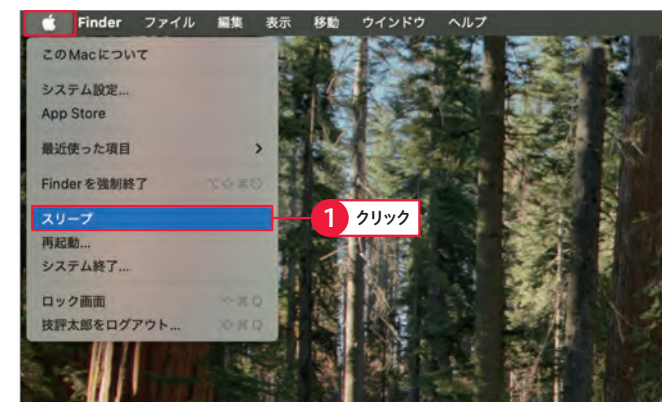
再ログイン時にウィンドウを再度開く

確認のダイアログボックスで[再ログイン時にウィンドウを再度開く]をクリックしてオンにし、Macを終了すると、次回Macにログインしたときに、電源を切る直前に表示していたウィンドウや、使っていたアプリケーションの状態が復元されます。



● Appleメニューからスリープと再起動をする

Macでの作業を一時的に中断するときは、「スリープ」機能を使用します。スリープを実行するには、メニューバーで[Appleメニュー]→[スリープ]をクリックします **1**。なお、ノートブック型Macの場合は、蓋を閉じるだけでもスリープします。スリープから復帰するには、キーボードのキーを押すか、マウスをクリックします。また、メニューバーから[Appleメニュー]→[再起動]をクリックすると、Macを再起動できます。



Column 電源ボタンの使い方

Macが反応しなくなった場合、電源ボタンを長押しすると電源がオフになり、システムを強制終了できます。強制終了すると、保存していない書類の変更は失われるので注意が必要です。

Section

4

マウスやトラックパッドの
使い方を覚える

- ✓ マウス
- ✓ トラックパッド
- ✓ マルチタッチジェスチャ

画面に表示されているマウスポインタを操作するには、マウスやトラックパッドなどの「ポインティングデバイス」を使います。ここでは、マウスとトラックパッドの基本的な操作と、マルチタッチジェスチャを紹介します。

Macで使えるポインティングデバイスを確認する

Macでは、マルチタッチに対応したポインティングデバイスを使用することで、指を動かすマルチタッチジェスチャによるさまざまな操作ができます。

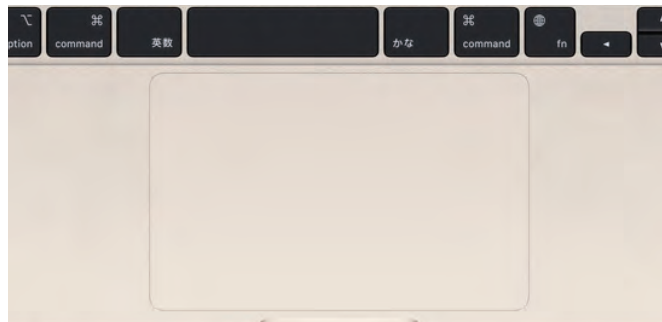
● Magic Mouse

iMacに付属する標準ワイヤレスマウスです。ボタンのない一体型のデザインが特徴です。マルチタッチジェスチャに対応しており、本体上面での指の動きで、さまざまな操作が可能です。別売りでも購入して使用できます。



● マルチタッチトラックパッド

マルチタッチトラックパッドは、ノートブック型Mac (MacBook、MacBook Air、MacBook Pro) に搭載されているポインティングデバイスです。トラックパッド全体が1つのボタンとなっており、場所を問わずクリックできます。MacBookではクリックの強さを感知する「感圧タッチトラックパッド」を搭載しています。



● Magic Trackpad

Bluetoothで接続する、外付けワイヤレストラックパッドです。iMacやMac Proなどのデスクトップ型のMacで、ノートブック型Macのような操作ができます。トラックパッドのマルチタッチジェスチャもすべて使用できます。



マウスとトラックパッドの基本操作を確認する

マウスを動かす、あるいはトラックパッドを1本の指でなぞると、Macの画面上のマウスポインタが連動して移動します。ここでは、マウスとトラックパッドの基本的な操作方法を紹介します。

● クリック/ダブルクリック

マウス、またはトラックパッドのボタンを1回押すことを「クリック」といいます。2回連続でボタンをクリックすることを「ダブルクリック」といいます。



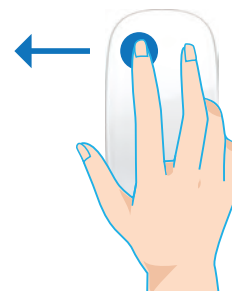
● タップ

トラックパッドの表面を軽く叩くように触れることを「タップ」といいます。タップの操作を有効にするには、設定の変更が必要です(368ページ参照)。



● ドラッグ

ボタンをクリックしながら、マウスを目的の位置まで移動することを「ドラッグ」といいます。トラックパッドの場合は、ボタンを押しながら、目的の位置までなぞります。



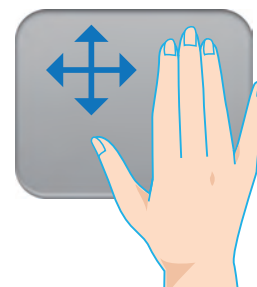
● 副ボタンクリック

Magic Mouseでは本体右上を押すことを、トラックパッドでは2本指でボタンを1回押すことを、「副ボタンクリック」といいます。Magic Mouseで副ボタンクリックを使用するには、設定の変更が必要です(366ページ参照)。



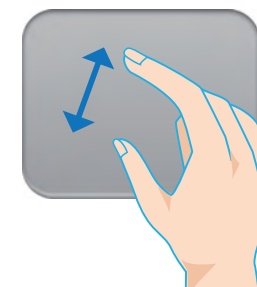
● スワイプ

トラックパッドの表面を上下、あるいは左右に、指でなぞるように滑らせる操作を「スワイプ」といいます。スワイプは2本の指で行います。



● ピンチイン/ピンチアウト

トラックパッドの表面を2本以上の指でつまむように狭めることを「ピンチイン」、開くように広げることを「ピンチアウト」といいます。



Section


4

Finderウィンドウを操作する

- ✓ Finderウィンドウ
- ✓ 拡大/移動
- ✓ スクロール

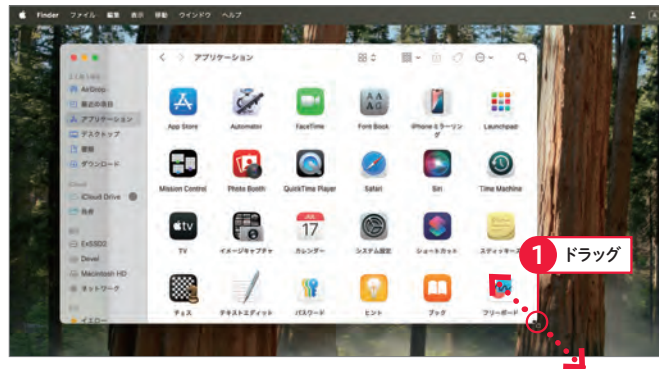
ウィンドウの拡大/縮小と移動は、すべてドラッグで行います。また、ウィンドウ内に表示しきれないアイコンを確認するには、スクロールしてウィンドウの表示領域を移動します。

ウィンドウの拡大/縮小と移動

ウィンドウの大きさを変更するには、ウィンドウの四隅のいずれかにマウスポインタを合わせ、マウスポインタの形がに変わったらドラッグします。ドラッグした範囲に応じて、ウィンドウサイズを変更できます。ウィンドウをデスクトップの別の場所に移動するには、ウィンドウのタイトルバー周辺をクリックして、そのまま移動先にドラッグします。

● ウィンドウを拡大/縮小する

マウスポインタをウィンドウの四隅のいずれかに合わせてドラッグします①。ドラッグした範囲に合わせて、ウィンドウが拡大/縮小されます。



● ウィンドウを移動する

ウィンドウのタイトルバーの何も無い部分をドラッグします①。ドラッグした方向に、ウィンドウが移動します。



ウィンドウのスクロール

ウィンドウ内のファイルやフォルダが一度に表示しきれない場合は、ウィンドウをスクロールして表示範囲を変更します。マルチタッチに対応したマウスやトラックパッドであれば、ジェスチャ操作(36ページ参照)でスクロールできます。また、確認したいファイルの位置が離れている場合は、スクロールバーをドラッグすると、長い距離を一気にスクロールできます。

● ジェスチャ操作でスクロールする

ウィンドウ内にマウスポインタを移動させ①、マウスの場合は1本の指、トラックパッドの場合は2本の指で、スクロールする方向とは逆方向にスワイプします②。ウィンドウがスクロールして、表示される範囲が変わります。また、スクロールホイールを搭載したマウスでも、スクロールが可能です。スクロール中に表示されるスクロールバーをドラッグして、スクロールすることもできます。



Column ウィンドウを切り替える

サイズの変更や移動などの操作対象になっているウィンドウのことを「アクティブウィンドウ」と呼びます。目的のウィンドウをアクティブウィンドウにするには、タイトルバーやウィンドウ内の余白部分をクリックします①。このとき、アクティブウィンドウ以外のウィンドウは、ウィンドウ全体の色が薄くなります。



Section

5

Finderウィンドウの表示を変更する

- ✓ Finderウィンドウ
- ✓ 表示形式
- ✓ 分類表示

Finderウィンドウはアイコン表示のほか、ファイル名を一覧表示する「リスト」、写真やムービーをプレビューする「ギャラリー」などの表示形式に切り替えられます。ファイルの内容に合わせて、表示方法を変更してみましょう。

Finderで利用できる4つの表示形式

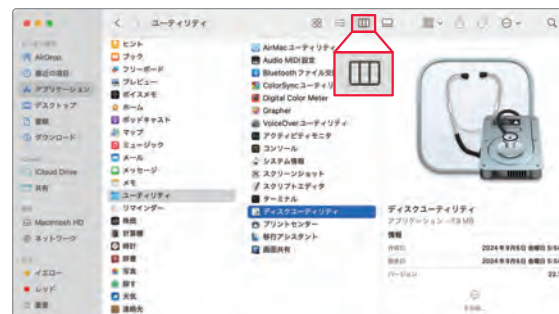
Finderには4つの表示形式が用意されています。表示形式を切り替えるには、ウィンドウ上部のツールバーにある表示切り替えボタンの中から、目的のボタンをクリックします。

● アイコン



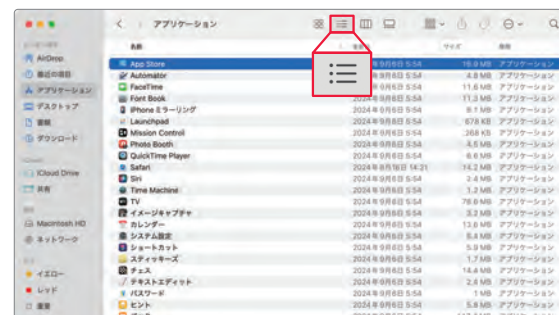
ファイルやフォルダのアイコンが大きく表示されます。種類や内容がわかりやすい表示形式です。

● カラム



ウィンドウが横方向に区切られて表示されます。フォルダの階層がわかりやすい表示形式です。

● リスト



ファイルやフォルダが一覧表示されます。変更日やファイルサイズなどを確認できる表示形式です。

● ギャラリー



選択中のファイルの内容が上部にプレビュー表示されます。ファイルによってはスクロールして、別のページを確認できます。

ファイル/フォルダの分類表示

Finderウィンドウでは、ファイルやフォルダを種類ごと、作成日ごとなど、任意の基準によって分類表示できます。たとえば、写真のファイルを撮影日ごとに分類して閲覧するなどの用途に役立ちます。また、大量のファイルやフォルダがある場合は、1度に表示するアイコンの数を減らして、分類ごとの視認性を高めることもできます。

1 ① をクリックする

Finderウィンドウの①をクリックし①、[グループを使用]をクリックします②。再度①をクリックし、今度は[グループ分け]の[追加日]をクリックします③。



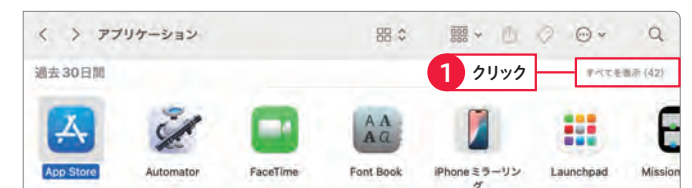
2 分類表示される

追加日ごとに、ファイルやフォルダが分類表示されます。追加日の右側にある[表示項目を減らす]をクリックします①。



3 表示数が少なくなる

追加日ごとのファイルが横一列の表示に変更され、1度に表示されるアイコンの数が少なくなります。[すべてを表示]をクリックすると①、手順②の表示に戻ります。



Column アイコンの大きさを変更する

表示形式が「アイコン」の場合、アイコンの大きさは細かく調整できます。アイコンの大きさを変更するには、[表示] → [ステータスバーを表示]をクリックして①、ステータスバーを表示します。ステータスバーは、フォルダ内の項目数や起動ディスクの空き容量などを表示する領域で、右端にスライダが表示されます。このスライダを左右にドラッグして、アイコンの大きさを調整できます。

1 ① をクリック



Section

7

スマートフォルダを作成する

- ✓ スマートフォルダ
- ✓ 検索条件
- ✓ 検索

検索条件は、「スマートフォルダ」として保存することができます。スマートフォルダを作成しておけば、フォルダを開くだけで、条件を満たすファイルやフォルダをいつでも表示できます。

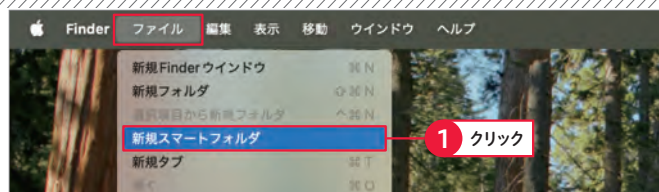
スマートフォルダを利用する

スマートフォルダは、条件を満たすファイルやフォルダを検索するためのフォルダです。普段は異なるフォルダにバラバラに保存している複数の文書ファイルの中から、仕事に関連するものだけを1つのウィンドウにまとめて表示して確認する、などの用途で利用すると便利です。

● スマートフォルダを作成する

① 新規スマートフォルダを作成する

Finderのメニューバーで、[ファイル] → [新規スマートフォルダ] をクリックします①。



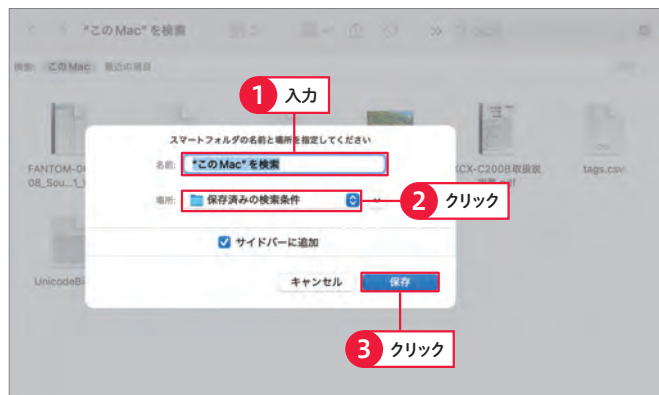
② 検索条件を入力する

「新規スマートフォルダ」ウィンドウが開いたら、[+] をクリックします①。98ページの手順を参考にキーワードや検索条件を指定し、[保存] をクリックします。



③ 検索条件を保存する

スマートフォルダの名前を入力して①、保存場所を選択します②。ここではサイドバーに配置するため、保存場所は変更しません。設定後、[保存] をクリックします③。



④ スマートフォルダが作成される

Finderウィンドウのサイドバーに、スマートフォルダが作成されます。スマートフォルダをクリックすると、内容を確認できます①。ほかの場所に保存したスマートフォルダは、通常のフォルダと同様にダブルクリックで開きます。



● スマートフォルダの検索条件を変更する

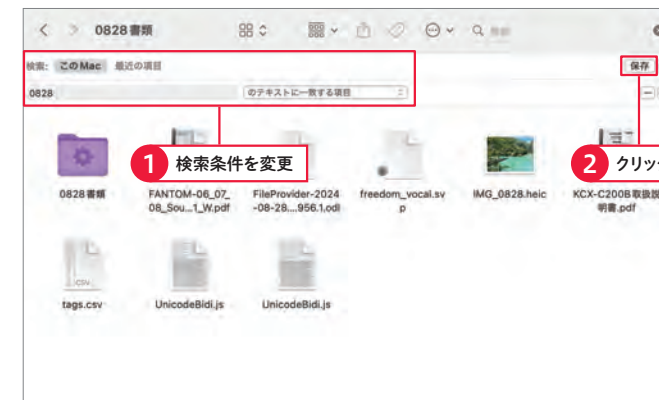
① スマートフォルダを開く

スマートフォルダをクリックして開きます①。[検索条件を表示] をクリックし②、[検索条件を変更] をクリックします③。



② 検索条件を変更する

「検索バー」が表示されるので、検索条件を変更します①。[保存] をクリックすると②、スマートフォルダの検索条件が変更されます。



Column スマートフォルダを削除してもファイルは残る

スマートフォルダは通常のフォルダとは異なり、ファイルやフォルダがそこに保存されているわけではありません。あくまで検索結果として、ファイルやフォルダが表示されているだけです。そのため、スマートフォルダを削除しても、検索結果として表示されていたファイルやフォルダが削除されることなく、本来の場所に残ります。

Section

1

アプリケーションの
起動と基本操作

- ✓ 起動
- ✓ Dock
- ✓ Launchpad

Macでファイル进行操作したり音楽を聴いたりするには、アプリケーションを利用します。Chapter 2で使ったFinderも、アプリケーションの一種です。ここではまず、アプリケーションを起動する方法を紹介します。

Dockからアプリケーションを起動する

Dockに配置されているアプリケーションのアイコンをクリックすると、Dockでアイコンが数回ジャンプするようなアニメーション効果が表示されて、続いてアプリケーションが起動します。

① Dockのアイコンをクリックする

Dockから、起動したいアプリケーションのアイコンをクリックします①。

MEMO

起動済みアプリケーションの表示を知る

Dockの起動済みアプリケーションのアイコン下には、起動済みであることを示すインジケータが表示されます。



② アプリケーションが起動する

アプリケーションが起動し、アプリケーションウィンドウが表示されます。また、メニューバーの項目が、アプリケーション固有のものに変化します。



Launchpadからアプリケーションを起動する

Mac内のすべてのアプリケーションを表示したいときは、「Launchpad」を表示します。Launchpadは、トラックパッドのジェスチャ操作でも呼び出せます。

① Launchpadを表示する

マウス操作の場合は、Dockの[Launchpad]をクリックします①。ジェスチャ操作の場合は、トラックパッドで親指と人差し指、中指、薬指を閉じるように動かします(38ページ参照)。



② Launchpadが表示される

Launchpadの画面に切り替わり、Mac内のすべてのアプリケーションが表示されます。ここでは、[その他]フォルダをクリックします①。



MEMO

Launchpadを終了する

Launchpadでアプリケーションを起動せずに元の画面に戻るには、Launchpadのアイコン以外の余白部分ををクリックします。

③ フォルダが開く

フォルダが開き、フォルダ内のアイコンが表示されます。起動したいアプリケーション(ここでは「テキストエディット」)のアイコンをクリックします①。



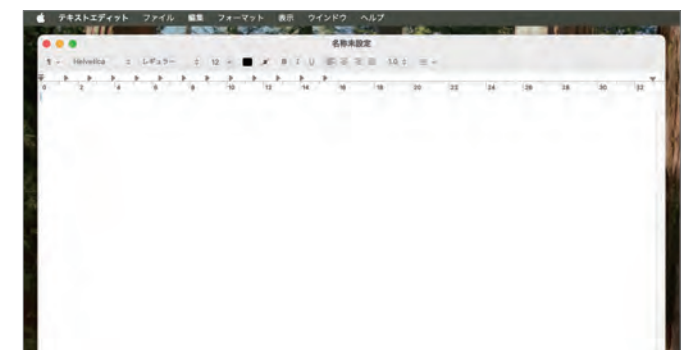
④ アプリケーションが起動する

アプリケーションが起動して、アプリケーションウィンドウが表示されます。

MEMO

「アプリケーション」フォルダから
起動する

Finderの「移動」メニューから「アプリケーション」フォルダを開き、アプリケーションの本体をダブルクリックすることでもアプリケーションを起動できます。



Launchpadをカスタマイズする

Launchpadのアイコンの並びは、ドラッグして変更できます。また、アプリケーションのアイコンをフォルダにまとめることも可能です。

1 アイコンを移動する

並べ替えたいアイコンを目的の位置にドラッグすると①、アイコンが移動します。



MEMO

アイコンを別のページに移動する

Launchpadの画面が複数あり、別のページにアイコンを移動したい場合は、画面両端のいずれかにアイコンをドラッグすると、画面が切り替わります。

2 アイコンを重ねる

アイコンをフォルダにまとめたいときは、対象のアイコンどうしを重ねるようにドラッグします①。



3 フォルダにまとめられる

重ねたアイコンが1つのフォルダにまとめられ、フォルダ名が自動的に付けられます。名前を変更するには、名前部分をクリックし、フォルダの名前を入力して①、[return]を押して確定します。フォルダにアイコンを追加するには、アイコンをフォルダに重ねるようにドラッグします。



Column Launchpadのページを切り替える

Macにインストールしたアプリケーションが増え、アイコンが1画面で表示しきれなくなると、新たなLaunchpadの画面が追加されます。Launchpadのページを切り替えるには、トラックパッドを2本指で左右にスワイプするか、[command]を押しながら[左右]もしくは[左右]を押します。

ログイン直後にアプリケーションを自動起動する

毎回利用するアプリケーションがある場合、Macの電源を入れ、デスクトップが表示されると同時に、自動的に起動するよう設定することができます。

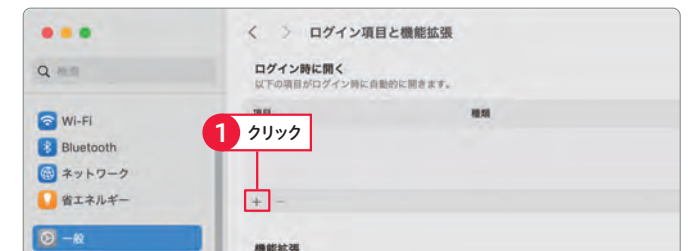
1 「システム設定」アプリを表示する

「システム設定」アプリの[一般]をクリックし①、[ログイン項目と機能拡張]をクリックします②。



2 「ログイン項目」タブを表示する

「ログイン項目と機能拡張」パネルが表示されるので、+をクリックします①。



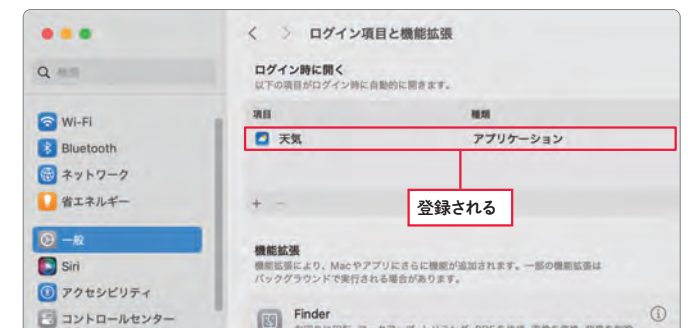
3 アプリケーションを選ぶ

自動的に起動したいアプリケーション(ここでは「天気」アプリ)をクリックし①、[開く]をクリックします②。



4 アプリケーションが登録される

アプリケーションが登録され、「ログイン時に開く」の一覧に追加されます。



MEMO

「ログイン時に開く」から削除する

アプリケーションを「ログイン時に開く」から削除するには、一覧でアプリケーションを選択して、[削除]をクリックします。

Section

2 Webページを表示する

- ✓ URL
- ✓ リンク
- ✓ Webページ

SafariでWebブラウジングをしてみましょう。ここではWebページを表示するためのもっとも基本的な手段である、URLを入力してWebページにアクセスする方法と、リンクをクリックしてページを移動する方法を紹介합니다。

URLを入力してWebページを表示する

「URL」は、Webページの所在地を示す住所のようなもので、一般的に「http://～」や「https://～」で始まります。このURLをSafariのスマート検索フィールドに入力して「return」を押すと、該当するWebページが表示されます。

1 URLを入力する

スマート検索フィールドに、閲覧したいWebページのURLを入力して①、「return」を押します②。



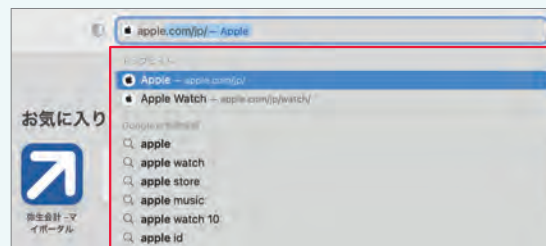
2 Webページが表示される

Webページが表示されます。スマート検索フィールド右端の🔄をクリックすると①、Webページの内容が最新の状態に更新されます。



Column URLの補完入力

URLの一部を入力すると、過去に表示したWebページのURLがメニューとして表示されることがあります。このURLをクリックすると、目的のWebページへと移動できます。



Webページを切り替える

クリックすると別のWebページに移動する文字列や画像、ボタンなどを総称して「リンク」と呼びます。Safariではこのリンクをクリックすることで、目的のページへと移動します。

● リンク先のWebページを表示する

1 リンクをクリックする

リンクの上にマウスポインタを合わせ、そのままクリックします①。



2 Webページが切り替わる

リンク先のWebページが表示されます。🔍をクリックすると①、手順①のWebページに戻ります。元のWebページに戻ってから🔍をクリックすると、リンク先のWebページを再表示します。



MEMO

Webページを閉じる

Webページを閉じるには、タブにマウスポインタを合わせると表示される🗑️をクリックします。開いているタブが1つだけのときは、ウィンドウ左上の🗑️をクリックします。

Column トラックパッドでSafariを操作する

トラックパッドでは、2本指で左から右にスワイプすると前のページに、右から左にスワイプすると次のページに移動します。また、ピンチ操作で画面の表示を拡大／縮小できます。

● 前のページに移動



2本指で右にスワイプ

● 次のページに移動



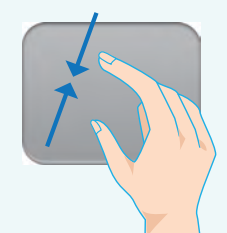
2本指で左にスワイプ

● 画面の拡大



親指と人差し指でピンチアウト

● 画面の縮小



親指と人差し指でピンチイン

Section

3 Webページを検索する

- ✔ スマート検索フィールド インターネット上の無数のWebページの中から、目的の情報を効率よく探すには、検索サービスを利用するのがいちばんです。Safariでは、定番の検索サービス「Google」を使ってWebページを検索できます。
- ✔ Google
- ✔ ページ検索

キーワードで目的のWebページを検索する

知りたい情報が掲載されたWebページを探すには、スマート検索フィールドに目的の情報に関連するキーワードを入力します。検索結果が多すぎて目的のページが見つからないときは、複数のキーワードで検索することで、検索結果を絞り込みます。

1 キーワードを入力する

スマート検索フィールドに、検索したいキーワードを入力して①、**return**を押します②。

MEMO

キーワードのサジェスト機能

スマート検索フィールドにキーワードを入力すると、「Google 検索」の項目におすすめのキーワードが表示されます。表示された項目をクリックすると、選択したキーワードによる検索結果が表示されます。



2 検索結果が表示される

キーワードに関連するWebページが検索され、検索結果が表示されます。リンクをクリックすると①、そのWebページが表示されます。

MEMO

履歴とブックマークの検索

スマート検索フィールドにキーワードを入力すると、過去に閲覧したページやブックマークの中から関連する項目が表示されます。



Webページ内の文字列を検索する

文字量の多いWebページなどでは、目的の情報を探すのに時間がかかります。このような場合は、Webページ内の文字列の検索機能を使うと、指定したキーワードを効率よく探せます。

1 検索機能呼び出す

目的の情報が掲載されているWebページを表示して、メニューバーで**編集**をクリックし①、メニューから**検索**→**検索**をクリックします②。



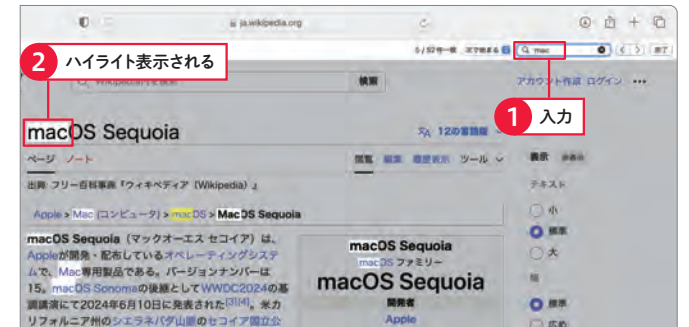
2 検索語句を入力する

検索バーが表示されたら、検索フィールドにキーワードを入力します①。検索された語句はハイライト表示になり②、そのうち選択中の語句は背景が黄色になります。

MEMO

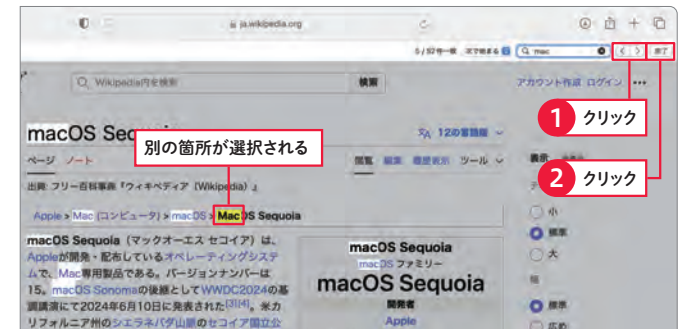
キーボードから検索バーを呼び出す

ページ内で検索を行う場合、**command**を押しながら**F**を押して呼び出すこともできます。



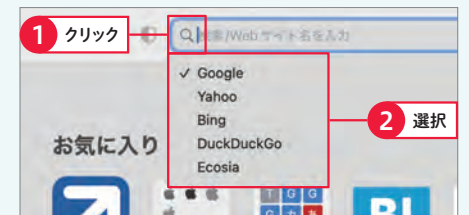
3 検索語句を入力する

検索バーの**完了**をクリックすると①、別の箇所にあるキーワードが選択されます。検索を完了するには、検索バーの**完了**をクリックします②。



Column 検索エンジンを切り替える

スマート検索フィールドの**検索**をクリックすると①、検索メニューが表示されます。このメニューで**Google** [Yahoo] [Bing] [DuckDuckGo] [Ecosia]のいずれかを選択すると②、それぞれの検索サービスでWebページを検索できます。検索エンジンの設定は、Safariの設定からも行えます(174ページ参照)。



Section

3 | メールを送信する


- ✓ 新規作成
- ✓ ファイル添付
- ✓ メール送信

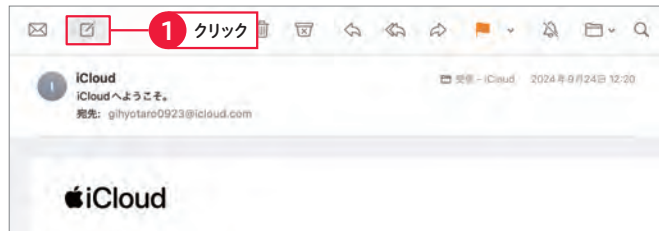
「メール」アプリの準備が完了したら、いよいよメッセージの送信です。ここでは、新規メッセージの作成と送信のほかに、メッセージにファイルを添付する方法も合わせて解説します。CcやBccでメールを送信することも可能です。

メッセージを作成して送信する


メッセージには本文のほかに、件名と送信先のメールアドレスを入力します。また、フォントの種類やサイズ、行揃えなどを編集して本文を整形することも可能です。

1 新規メッセージを作成する

「メール」アプリを起動して、をクリックします
①。「新規メッセージ」ウィンドウが開きます。





2 宛先と件名を入力する

「宛先」のをクリックすると①、「連絡先」アプリに登録した連絡先から送信先をクリックして選択できます②。「宛先」をクリックして、直接メールアドレスを入力することも可能です。また、連絡先に登録したり、過去に送受信したことがあるメールアドレスは、宛先欄にアドレスや名前の一部を入力すると候補として表示されます。「宛先」の入力が完了したら、「件名」を入力します③。



3 本文を入力して送信する

メッセージの「本文」を入力します①。本文を整形したい場合は、をクリックして②、193ページの方法で変更します。をクリックすると③、メールが送信されます。



送信するメッセージの設定を変更する



● 差出人を変更する

「差出人」の欄をクリックすると、「メール」アプリに登録している差出人のリストが表示されます。変更したい場合は、このリストから別のメールアドレスをクリックして選択します①。



● 書式を設定する

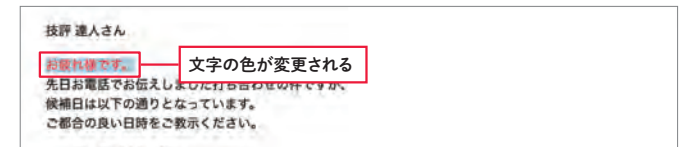
1 ツールバーを表示する

をクリックすると①、ツールバーが表示されて、文字の大きさや色、配置などの書式を変更できます。ここでは、文字の色を変更します。変更したい箇所をドラッグして選択し②、をクリックして、好きな色をクリックします③。



2 書式が変更される

選択した範囲の文字の色が変更されました。




● Cc / Bccを設定する

1 Ccを入力する

初期設定で、宛先の下にCcの入力欄が表示されているので、ここに連絡先を入力します①。



2 Bccの入力欄を表示する

Bccは初期設定では非表示になっています。をクリックし、「Bccアドレス欄」をクリックすると①、Ccの下にBccの入力欄が表示されます。必要な場合は、ここに連絡先を入力します。

